

南無妙法蓮華經

日蓮所言法華經一部合して二百二十九箇条

御義口伝に云はく、南無とは梵語なり、此には歸命と云ふ。歸命に人法之有り。人とは釈尊に歸命し奉るなり、法とは法華經に歸命し奉るなり。又云はく、歸とは迹門不變真如の理に歸するなり、命とは本門隨緣真如の智に歸するなり。歸命とは南無妙法蓮華經是なり。釈して云はく、隨緣と不變と一念の寂照なり。又云はく、歸とは我等が色法なり、命とは我等が心法なり。色心不二なるを一極と云ふなり。釈籤に云はく「一極に歸せしむ、故に仏乗と云ふ」と。又云はく、南無妙法蓮華經の南無とは梵語、妙法蓮華經は漢語なり。梵漢共時に南無妙法蓮華經と云ふなり。又云はく、梵語には薩達磨芬陀梨伽蘇多覽と云ひ、此には妙法蓮華經と云ふなり。薩とは妙なり、達磨とは法なり、芬陀梨伽とは蓮華なり、蘇多覽とは經なり。九字は九尊の仏体なり。九界即仏界の表示なり。妙とは法性なり、法とは無明なり。無明法性一体なるを妙法と云ふなり。蓮華とは因果の二法なり。是又因果一体なり。經とは一切衆生の言語音声を經と云ふなり。釈に云はく「声仏事を為す、之を稱して經と為す」と。或は三世常恒なるを經と云ふなり。法界は妙法なり、法界は蓮華なり、法界は經なり。蓮華とは八葉九尊の仏体なり。能く能く之を思ふべし。

伝に云はく、

序品七箇大事	方便品八箇大事	譬喩品九箇大事
信解品六箇大事	藥草喩品五箇大事	授記品四箇大事
化城喩品七箇大事	五百品三箇大事	人記品二箇大事
法師品十五箇大事	宝塔品二十箇大事	提婆品八箇大事
勸持品十三箇大事	安樂行品五箇大事	涌出品一箇大事
寿量品二十七箇大事	分別功德品三箇大事	隨喜品二箇大事
法師功德品四箇大事	不輕品三十箇大事	神力品八箇大事
囑累品三箇大事	藥王品六箇大事	妙音品三箇大事
普門品五箇大事	陀羅尼品六箇大事	嚴王品三箇大事
普賢品六箇大事	無量義經五箇大事	普賢經五箇大事
已上二百二十九箇条なり 此の外に別伝之有り 具に之を記し訖んぬ		